

福岡市障がい者就労支援センター

在職者対象 職場定着促進事業

在職者を対象とした研修会 「就労SST講座」

この事業は、企業支援の一環として、障がいのある社員に対し、社会人としての心がまえや職場でのコミュニケーションスキルを学ぶ機会を提供することで、就労生活を継続していくことを目的としています。

障がい者就労支援センターでは、障がい者への就労支援の他、就労支援事業所や企業への支援を行っています。

当センターでは、平成29年7月に、企業からの相談を受け付ける「障がい者雇用サポートデスク」を設置しました。サポートデスクには、現在雇用している社員について、「スキルアップをしてもらうにはどうすればいいか」「働くモチベーションを維持してもらうにはどうしたらいいか」「報告や連絡、相談などを適切にしてもらうにはどうしたらいいか」などの相談を寄せられることが多くなりました。

そこでこれらの声に応えるために在職者を対象とした「就労SST講座」を実施することとしました。

【就労SST 講座の概要】(令和元年度)

【講座】参加者数：9名

期間：令和2年1月から2月 4回

講師：SST 普及協会講師2名

内容：SST の技法を用いたコミュニケーション練習

【講演】参加者数：14名

日時：令和2年2月13日

講師：ANA 福岡空港株式会社

総務課 島田 貴之マネージャー

内容：(講演)「働き続けるために…」
ディスカッション

【講座】

今回の講座では、SST 普及協会から2名の講師を招き、SST の手法に沿って対人スキルの訓練を行いました。参加者が実際の職場で、“何に” “どう困ったのか” をロールプレイで再現し、他の参加者から、良かったところやもう少し改善できそうなところを発言するという時間を設けました。

その後は、実際に実践できそうなことを取り入れて、再度ロールプレイを行いました。講座の最後には“職場で実際に活用してみる”ことが宿題として出されました。



【講演】

当事者でもある島田マネージャーからは、働き続けるためには労働意欲を持ち続けること、健康管理、コミュニケーション、チームワークが大切だと話がありました。なかでも「労働意欲を持ち続けるためには前向きに仕事に取り組むことが大切」という言葉は、参加者の胸を打ったようでした。

また、講演の後のグループディスカッションでは、仕事に対し自信が持てないという悩みや、コミュニケーション上で努力していることなどを共有できる機会となりました。

